

## 情報公開文書

研究の名称	悪性胆道狭窄における超音波内視鏡下胃胆管瘻孔形成術(EUS-HGS)の治療成績と安全性の後方視的検討
整理番号	R2021039
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系 内科学第三講座 助教 元尾伊織
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2021年5月26日から2025年3月31日までに、当施設(富山大学附属病院)において悪性胆道狭窄に対してEUS-HGSを受けた方</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> EUS-HGSは悪性胆道狭窄の胆道ドレナージとして普及しているが、観血的処置であるため、出血傾向のある症例と穿刺経路内の大量腹水の症例では注意が必要である。しかし、悪性胆道狭窄の場合、日常診療において腹水貯留を伴っている症例は比較的多く経験される。そこで、腹水貯留群でもEUS-HGSの有効性と安全性を示すことは、経乳頭的アプローチが困難な症例において、胆道ドレナージの方法を選択する際の重要な資料となり、臨床的意義は大きいと考えられます。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 後ろ向き観察研究で、対象期間中への対象患者における患者基本情報、問診情報、身体所見、検査データ、画像所見データ、治療関連データを診療録から収集し、研究責任者が解析します。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2021年5月26日から2025年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 研究結果は消化器系学会または論文で発表の方針です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>本研究に試料は用いません。情報は以下の項目を用います。 性別、生年月日などの基本情報、臨床経過、既往歴などの問診情報、身長、体重、体温、血圧、脈拍数などの身体所見、血清総蛋白、血清アルブミン、血清コリンエステラーゼ、血清総コレステロール、血清尿素窒素、血清クレアチニン、血清ALT、血清AST、血清LDH、血清CRP、血球数、尿蛋白、腫瘍マーカーなどの検査データ、内視鏡検査所見、CT検査所見、MRI検査所見などの画像所見データ、病理所見、処方、注射、手術などの治療関連データなど</p> <p>他機関への提供は行いません。また、研究で得られた情報は、将来の研究のために二次利用される可能性があります。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系 内科学第三講座 助教 元尾伊織
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学 学術研究部医学系 内科学第三講座 助教 元尾伊織
研究対象者、親族等関係者からの相談等への	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。

対応窓口	電話 076-434-7301 E-mail <a href="mailto:iori4869@med.u-toyama.ac.jp">iori4869@med.u-toyama.ac.jp</a> 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系内科学第三講座 元尾伊織
------	---